

●「第149回 国際交流の集い」～主催:国際交流部会～

場所：市民交流センター 11月25日14時～16時 出席者27人

講演者：ジェームズ・パパトネスさん（米国籍弁護士）

日本在住の米国人弁護士ジェームズ・パパトネス氏（全米高校ディベート大会での優勝者）が、カルロス・ゴーン氏の奇想天外な行動に至る過程をどう見たかを論じていただきました。主に日本の刑事司法制度と世界観的な比較の相違という内容から始まりました。パパトネス氏は日本における法律の授業が義務教育時期のカリキュラムに乏しいという指摘から始まり、出席者に質問をしたことから、スタンダードな講演の形式とは異なり、意見交換のディスカッションとなりました。テーマが「カルロス・ゴーン」ということで、今後の法廷裁判が控えていることでもあり、内容については、差し控えさせていただきます。いずれにしても出席者のみなさんは楽しく英会話をされた2時間の講演でした。

(取材・写真 / 広報部会)



▲ジェームズ・パパトネスさん

●令和初「第65回 昭島新春駅伝」～昭和の森～

昭島市新春駅伝は昨年までの、光華小学校～諏訪神社～中神坂～八清～江戸街道のコースを変更して昭島駅北口、昭和の森周辺を一周し、中継地点が、いちよう並木通りとなりました。この大会を取材した広報部会の幡垣も、地域の部で参加いたしました。



▲地域の部スタート

走った感想は、起伏がなく平坦で走りやすいコースになったようです。

沿道の応援も多かったように感じましたが、今までのように地域内を走るスタンスが消滅してしまい、高齢者の応援がなかったのが少しだけ寂しい感じもありました。因みに玉川小学校チームのアンカーはなんと稲垣達也校長先生でした。さっそうとゴールに入ってきたのがとても印象的でした。完走後、清々しくVサインで、カシャッ！



▲稲垣達也 校長先生

●昭島市新春駅伝からスター誕生！谷野航平君（青山学院大学4年生）

今年の箱根駅伝は青山学院大学が優勝しましたが、箱根下りの6区を走ったのが、瑞雲中学出身の谷野航平君でした。努力に努力を重ねて、最後に掴んだ箱根駅伝で見事な力走により青山学院大学の優勝に貢献しました。

箱根を走るだけでも凄いことなのに、まさに昭島市の誇りですね。

(取材・写真 / 広報部会)

●令和で初の「初詣(はつもうで)」

新年に、初めて寺社へお参りすることを「初詣」と言います。平安時代は、宮中の儀式でしたが、江戸時代頃から庶民の行事として、盛んに行われるようになったようです。

旧中神村(現在の中神町、玉川町、朝日町)には、日枝神社・熊野神社・福巖寺・稲荷神社などがあります。年号が令和に変わって初めての元旦。大晦日の「紅白歌合戦」が終わった頃から、神社やお寺には長蛇の列ができます。午前零時を期して「初詣」が開始。各寺社には、青年の会、神輿同好会、地元の自治会有志の皆さんの温かいご接待(甘酒・お汁粉・福蜜柑など)があり、気持ちも身体もホカホカ。

(取材・写真 / 広報部会)



▲福巖寺の初詣